

危険予知(KY)教育

従業員の労働災害を防止するため、新入社員に対する危険予知(KY)教育を行っています。自分の作業の内容や設備に対して、事前に危険のポイントがどこなのかを知り、確認することで、事故の発生を防ぎます。

教育は off-JT で行うだけでなく、OJT でも「安全ミーティング」の形で継続して実施しています。

